

様式 1 1

指定管理者の評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立聖苑、箕面市立霊園		
指定管理者名	太陽築炉工業 株式会社		
開催日	令和2年（2020年）9月1日（火）		
開催場所	箕面市立聖苑 2階第5控室		
合議の出席者	株式会社 霊園・墓石のヤシロ	為房 佳宏 氏	
	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター	辻井 正樹 氏	
	公益財団法人 大阪府都市整備推進センター	上東 宣宏 氏	
	株式会社 共益社	西園 英信 氏	
	株式会社 公益社豊中営業所	池田 貴和 氏	

【概要】別添のとおり

様式 1 1

内容

令和2年9月1日(火)に箕面市立聖苑にて、指定管理者の評価に係る合議を実施いたしました。その中で以下のような意見が出席者よりありました。

○利用者アンケートについて

- 1 Q(合議出席者): アンケートからの要望や葬儀社からの依頼に対して指定管理者のレスポンスが早く、葬儀社にとってもお客さんにとってもありがたい。アンケートの回収率が上がってはいるが、アンケートを渡すタイミングについて検討してほしいという意見がある。渡す際の案内を工夫すれば、もう少し回収率が上がると思う。
Q(合議出席者): 何度かお骨上げに立ち会っているが、収骨の案内が非常に丁寧なので、アンケートのお願いが失礼に感じたことはない。
Q(指定管理者): ほかの斎場で良かったことを参考に伺いたい。
A(合議出席者): 接遇の良さは他の斎場に比べ格段に良い。市立霊園の関係で墓地理葬法もよく勉強しており、お客さんに聞かれた内容で分からないことを相談しても、すぐに正確なレスポンスがあるので、評価している。
- 2 Q(合議出席者): アンケートで市立聖苑の入口の交通が危険だという意見があるが、実際に出入りする車と自転車の接触が何度かあった。河川敷にあるような、自転車の動きを制限する段差を設置すればいいのではないか。また、入口の生け垣を剪定すれば見渡しがよくなり事故が減るのではないか。
ゆずるバスなどで「聖苑・霊園前」で停留所を作ってはどうか。
A(指定管理者): 建築当初、対面の住民より迷惑施設であるため出入りが見えないようにするよう協議があり、クスノキや生け垣は目隠しの役割がある。段差の設置や停留所については可能であれば協議したい。
- 3 Q(合議出席者): 聖苑入口のモニュメントは非常に評判が悪い。
A(指定管理者): 同様のお声は挙がっているが、芸術作品として理解いただきたい。

○霊園について

- 1 Q(合議出席者): 市立霊園の返還について、令和元年度は3件となっており少ないと感じた。
A(指定管理者): 平成27年9月に合葬式墓地が建立され、区画墓地の返還から合葬墓への改葬がある程度あったため、返還がいったん落ち着いている。
- 2 Q(合議出席者): 一心寺が受付できる遺骨の量を減らしたので、利用者より今後墓地はどうなるのかという相談が増えてきている。お墓への考え方が変わってきているように感じる。
A(合議出席者): 葬儀の簡素化が進んでいるが、今回のコロナ禍で一層進んだように感じる。葬儀を簡易にすることで、お墓についても簡易的になっているのではないか。
A(合議出席者): 現在は墓地の購入が非常に減っている。墓地を継ぐ人がおらず返還などの件数が増えている。代わりに合葬墓や樹木葬などの応募は非常に増えている。

- 3 Q(指定管理者): 霊園管理において、埋蔵証明書を発行される際に、先祖代々入っているかたの埋蔵証明が困難な場合はどのように対応しているか。
 A(合議出席者): 受付した書類の分だけ保存しているので、届出があった分だけを証明書として発行している。届出がないまま埋蔵されていた場合は、今回埋蔵したとして、火葬許可証を出していただいている。

○コロナウイルス感染症について

- 1 Q(合議出席者): コロナ禍においても市立聖苑では、式場の座席数を間引きするなどコロナ対策をしているため、利用者にも案内が行いやすい。しかし、2階の控室においては配席が通常通りのため検討していただきたい。
 A(合議出席者): 座らないでくださいという布をかぶせてはどうか。
 A(指定管理者): ラミネートした注意喚起のもので大丈夫か。
 A(合議出席者): 椅子の収納などもする必要がないため、良いと思う。
- 2 Q(合議出席者): コロナ禍において、葬儀のライブ配信などが可能か問い合わせがある。弊社では一部モバイル Wi-fi などで遠隔葬儀を試験導入している。
 A(指定管理者): 市立聖苑でもつい最近、告别室でのお別れにおいて、ご自身の携帯で撮影した動画を親族に送るといった事例があった。ニーズが増えつつあることを認識している。現状、市立聖苑にも Wi-fi が設置されているが、範囲が狭いので拡充を検討している。
- 3 Q(指定管理者): 現状コロナ禍の元、運用を行っているが、式場の座席数などについてアフターコロナはどのようなお考えか。
 A(合議出席者): 今後何年間かはソーシャルディスタンスの確保は継続するつもりである。コロナウイルス感染症は SARS などこれまでの感染症とは異なり、非常事態宣言などがあり、世間の状況が許さない限り緩和はできないと考えている。

○その他

- 1 Q(合議出席者): 火葬の入場時予約枠に 16 時入場があるが、実質 15 時半入場となっている。他の時間枠と同様、入場時間として統一してほしい。
 A(指定管理者): 以前は 16 時入場として統一していたが、16 時半など大幅に遅れて入場することが多々あり、収骨時間を大幅に遅らせる問題が発生した。市と葬儀業者と協議して、万が一遅れても対応ができるよう、現状の運用となっている。それ以後、これまでにトラブルも発生していない。
- 2 Q(指定管理者): 第一式場の運用が課題となっている。アドバイスなどがあれば教えていただきたい。
 A(合議出席者): 建築当初の第一式場で座席が 200 席並んでいる大きな会場というイメージが残っている市民が多い。また、昔使ったときに広がったから使いたくないというお声も挙がっている。現状実施している、パーティションによる式場を小さく見せる工夫など、ご存知ない市民が多い。市の施設であり難しいかもしれないが、チラシなどの広告を打ってはどうか。また、市内に勤務している市外利用者の利用金額を緩和するなどはどうか。
 A(合議出席者): 現状のホームページには間引きしている座席数の写真が掲載されていないため、ホームページで見える形にしてはどうか。また、家

様式 1 1

族葬などの祭壇施工写真をのせれば PR になるのではないか。

A（市）：祭壇写真を提供いただき、市役所内で決裁がとれれば掲載できる。

3 Q（合議出席者）：施設の老朽化により、毎年なにか設備のトラブルが発生しているが、放置せずに応急処置など素早く対応しており、非常に助かっている。長年の施設管理をしてきた経験が活かされている。

A（指定管理者）：今後も継続して施設の維持管理に努める。

《総評》

今回の合議において、新型コロナウイルス感染症への対応について意見が多く出され、その中には良い評価をいただいたものもあれば、まだ工夫が足りないという意見も見受けられ、これからの当施設の適切な管理運営において特に留意しなければいけない点であるということを確認しました。その他の面においては、概ね良い評価をいただいております。総じて指定管理者として円滑な運営を行っているのと、市として評価いたします。